PARAMOUNT NEWS
パラマウントニュース
Vol.43　2022　新春号

パラマウント硝子工業株式会社
https://www.pgm.co.jp
（業務推進部）
〒102−0083
東京都千代田区麹町 2-4-1 麹町大通りビル
TEL：03-4582-5370

断熱等性能等級

ZEHより上位の等級6・7の創設を検討
住宅脱炭素化に向け、対応が加速

住宅性能表示制度の断熱等性能等級で、ZEH水準を上回る等級を設定する検討がスタートした。国は先ごろ開催した会議で、HEAT20が設定した外皮グレードであるG2・G3に匹敵する性能の等級6・等級7を設けるという案を示した。等級7の暖冷房にかかる一次エネルギー消費量の削減率は概ね40%削減となっており、2050年の住宅脱炭素化に向けて、関連制度の見直しが加速している。

国土交通省、経済産業省、環境省の三省は先ごろ、「社会資本整備審議会　建築分科会　建築環境部会建築物エネルギー消費性能基準等小委員会」などの合同会議を開き、住宅性能表示の断熱等性能等級において、ZEH水準を上回る等級を創設する案を示した。

住宅表示制度の断熱等性能等級については、これまで省エネ基準レベルの等級4までしか設定されていなかった。

しかし、8月に公表された「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会」のとりまとめで、より高い省エネ性能を実現するトップアップの取り組みの一環として「住宅性能表示制度の上位等級として多段階の断熱性能を設定する」という施策が盛り込まれた。

これにより、新たにZEH水準相当の等級5の設定に向け行政手続きが進められている。

さらに今回、省エネに関してトップアップの取り組みをより推進していく観点から、ZEH水準を上回る等級として、等級6、等級7の案が示された。

案では、等級6は暖冷房にかかる一次エネルギー消費量を省エネ基準から概ね30%削減、等級7は概ね40%削減を目安に設定。

等級6・7とも「2020年を見据えた住宅の高断熱化技術検討委員会」（HEAT20）の外皮性能グレードを参考。一部地域で一次エネルギー消費量の削減量が上振れしてしまうことから、数値の調整は行われているものの、等級6はG2、等級7はG3の数値が引用されている。

また、国の資料では、等級6・7を実現するための仕様例も示した。等級6を実現するためには、6地域（東京など）で、壁では高性能グラスウール16K（105㎜）に付加断熱として押出法ポリスチレンフォーム3種（25㎜）、窓はLow-E複層ガラス（G12）に樹脂サッシという仕様。等級7を実現するためには、壁では高性能グラスウール20K（105㎜）に付加断熱としてフェノールフォーム（100㎜）、窓はダブルLow-E複層ガラス（G9）と樹脂サッシという仕様だ。

低炭素建築物の認定基準と誘導基準も見直し ZEH基準の省エネ性能に整合

今回、ZEHのさらなる普及拡大を図る観点から、エコまち法に基づく認定低炭素建築物の認定基準と、建築物省エネ法の誘導基準を、ZEH基準の省エネ性能（再エネ除く）に整合させる検討にも入った。いずれも従来よりも高い省エネ性能を求める。

加えて、低炭素建築物については、新たに太陽光発電設備などの再生可能エネルギーの設置を要件として求める。

ただし、設置要件は条件不利地域や高層の住宅・建築物にも配慮した水準とする考えだ。

今後、住宅性能表示制度でのZEH水準を上回る等級の創設、低炭素建築物の認定基準と建築物省エネ法の誘導基準の改正案については、再度の検討会を経て、パブリックコメントにかける。来年3月頃に公布を行う予定だ。

施行については、国土交通省は、審査体制の構築の状況や事業者の状況も踏まえて今後設定したい、としている。

住宅性能表示の現行水準とZEH水準、ZEH水準を上回る等級の水準案

現行水準			地域の区分 1	2	3	4	5	6	7	8
住宅品確法 断熱等 性能等級	等級2（S55基準）	U_A	0.72	0.72	1.21	1.47	1.67	1.67	2.35	—
		η_{AC}	—	—	—	—	—	—	—	—
	等級3（H4基準）	U_A	0.54	0.54	1.04	1.25	1.54	1.54	1.81	—
		η_{AC}	—	—	—	—	4.0	3.8	4.0	—
	等級4（省エネ基準　BEI＝1.0※1）	U_A	0.46	0.46	0.56	0.75	0.87	0.87	0.87	—
		η_{AC}	—	—	—	—	3.0	2.8	2.7	6.7
ZEH 一次エネ水準（BEI＝0.8※2）	強化外皮基準	U_A	0.40	0.40	0.50	0.60	0.60	0.60	0.60	—
民間基準（参考）	HEAT20　G1	U_A	0.34	0.34	0.38	0.46	0.48	0.56	0.56	—
	HEAT20　G2	U_A	0.28	0.28	0.28	0.34	0.34	0.46	0.46	—
	HEAT20　G3	U_A	0.20	0.20	0.20	0.23	0.23	0.26	0.26	—

上位等級、ZEH水準を上回る等級の水準案			地域の区分 1	2	3	4	5	6	7	8
住宅品確法 断熱等 性能等級	等級5（上位等級（パブコメ済））	U_A	0.40	0.40	0.50	0.60	0.60	0.60	0.60	—
		η_{AC}	—	—	—	—	3.0	2.8	2.7	6.7
	等級6（ZEH水準を上回る等級）	U_A	0.28	0.28	0.28	0.34	0.46	0.46	0.46	—
		η_{AC}	—	—	—	—	3.0	2.8	2.7	5.1
	等級7（ZEH水準を上回る等級）	U_A	0.20	0.20	0.20	0.23	0.26	0.26	0.26	—
		η_{AC}	—	—	—	—	3.0	2.8	2.7	—

※1 太陽光発電設備及びコージェネレーション設備の発電量のうち自家消費分を含む
※2 再生可能エネルギーを除く

低炭素建築物と誘導基準の現行基準と改正案

			地域の区分 1	2	3	4	5	6	7	8
建築物 省エネ法 誘導基準	一次エネ基準（BEI）		0.9※1							
	外皮基準	U_A	0.46	0.46	0.56	0.75	0.87	0.87	0.87	—
		η_{AC}	—	—	—	—	3.0	2.8	2.7	6.7
エコまち法 低炭素建築物 認定基準	一次エネ基準（BEI）		0.9※1							
	外皮基準	U_A	0.46	0.46	0.56	0.75	0.87	0.87	0.87	—
		η_{AC}	—	—	—	—	3.0	2.8	2.7	6.7
建築物 省エネ法 誘導基準	一次エネ基準（BEI）		0.8※2							
	外皮基準	U_A	0.40	0.40	0.50	0.60	0.60	0.60	0.60	—
		η_{AC}	—	—	—	—	3.0	2.8	2.7	6.7
エコまち法 低炭素建築物 認定基準	一次エネ基準（BEI）		0.8※2							
	外皮基準	U_A	0.40	0.40	0.50	0.60	0.60	0.60	0.60	—
		η_{AC}	—	—	—	—	3.0	2.8	2.7	6.7

※1 太陽光発電設備及びコージェネレーション設備の発電量のうち自家消費分を含む
※2 再生可能エネルギーを除く

TOPICS

長期優良住宅化リフォームの公布申請受付期間を延長
国土交通省

性能向上リフォームの工事に対する費用を補助する「長期優良住宅化リフォーム推進事業」の令和3年度の公布申請の受付期間を令和4年1月31日まで延長する。これまでは令和3年12月24日までだった。延長するが、予算がなくなり次第、交付申請の受付を終了する。

新築戸建てのLow-複層ガラス普及率が86%超に
板硝子協会

令和2年度の「複層ガラス・エコガラス普及率調査」によると、新築戸建て住宅での複層ガラス普及率は3年連続で98%超に。また、エコガラス（Low-E複層ガラス）は前年より増えて86.4%と過去最高になった。

住宅設計、在宅勤務スペースの採用率が86%に
（一財）住宅金融普及協会

「住宅の設備および仕様等に関する事業者アンケート調査」によると、住宅事業者の8割超が一部の住宅に、新型コロナ感染予防の住宅設計を取り入れている。採用（可能）率は、「在宅勤務スペース」86%、「宅配ボックス」82%、「玄関に手洗い設備」71%となっている。

PICK UP

商品のお知らせ／内装パラダイス／新生ハウスロン／露断シリーズ

内装パラダイス

内装用グラスウール「内装パラダイス」は設計価格はそのままに
全品、高性能品へ進化します。さらに、不燃認定範囲を
密度10[kg/m³]まで拡大し、新サイズを2ラインナップ拡充します。

密度は3種・全７品種をラインナップ

高性能品 密度 10 [kg/m³]	NEW 厚さ 幅 長さ [mm] 50×430×2740	NEW 厚さ 幅 長さ [mm] 100×430×1370	厚さ 幅 長さ [mm] 100×430×2740
高性能品 密度 16 [kg/m³]	厚さ 幅 長さ [mm] 50×430×2740	厚さ 幅 長さ [mm] 100×430×1370	
高性能品 密度 24 [kg/m³]	厚さ 幅 長さ [mm] 50×430×1370	厚さ 幅 長さ [mm] 100×430×1370	

詳しくは
右のQRコードより

生産体制および品質管理体制が整い次第、2021年12月の生産分から変更予定

ハウスロン Premiere プレミア 超撥水 ソフールから、切り替え！ハウスロン®

ブランド再編成、新生「ハウスロン」誕生！

高性能品 密度 16 [kg/m³]
高性能品 密度 10 [kg/m³]

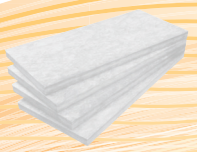
長年ご愛顧いただきましたハウスロンプレミア・ソフールシリーズは新生「ハウスロン」へ集約します。
密度 16[kg/m³] 高性能品６種類、密度 10[kg/m³] 高性能品５種類、合計 11 種類をラインナップ。
さらに、一般建築物への使用範囲拡大と安全性向上を目的に、不燃認定を2021年12月に取得予定です。

2022年3月初旬生産分より変更予定

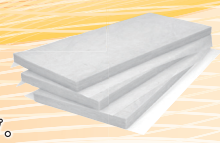
詳しくは右のQRコードより

住宅床用グラスウールボード 露断シリーズ 全品種〝ノンホルム〟タイプへ

露断 Premiere プレミア 撥水
撥水効果を持たせたグラスウールボード。
高い透湿性を発揮し、構造躯体のすばやい乾燥を促進。



露断ピンレス
好評な「露断プレミア」の強力な撥水と
高い透湿性はそのままに受け金具が不要の剛床タイプ。



「露断プレミア」と「露断ピンレス」を製品仕様と品揃えはそのままに、全品種〝ノンホルム〟タイプとなります。
これにより、ノンホルムタイプの「ハウスロンZERO」との組み合わせで、屋根・天井・壁・床すべての部位をノンホルムタイプとすることが可能となり、一棟まるごとノンホルム断熱材が実現できます。

露断シリーズと一緒にハウスロン ZERO シリーズを使用で 1棟すべて「ノンホルムアルデヒド」のプランが可能！

2022年3月初旬生産分より変更予定

詳しくは右のQRコードより

支店・営業所

詳しくは各支店・営業所までお問い合わせください

北海道支店 TEL.011-590-8800	北東北営業所 TEL.019-637-9988	東北支店 TEL.022-227-4741
東京本店 営業一部 TEL.03-4582-5380	東京本店 営業二部 TEL.03-4582-5386	東京本店 営業三部 TEL.03-4582-5390
中部支店 TEL.052-211-6300	西日本支店 TEL.06-6231-4428	福岡営業所 TEL.06-6231-4428